

EDP3&Rejuline&IDP5

(EDP3&リジュリン&IDP5)

3GF ペプチドにより、表皮&基底膜&真皮&肌活性化の4重の抗シワ効果

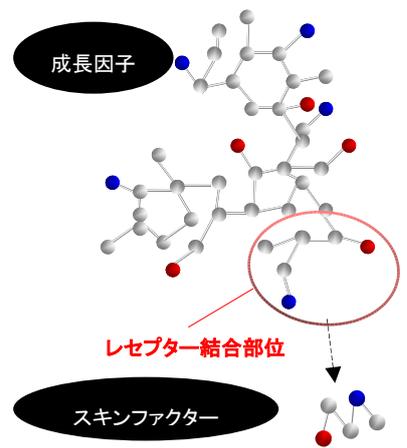
【特長】 皮膚に必須の3GF (EGF、FGF、IGF) 由来
ヒトオリゴペプチドより安全で、長期的な効果が期待
表皮から真皮まで、皮膚全体から抗シワ導く新規ペプチド MIX

【コンセプト】

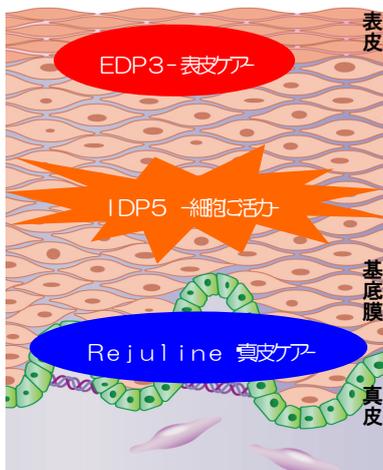
「**成長因子 (Growth Factor)**」とは、100 程度のアミノ酸で構成された**サイトカイン**の一種です。現在までに 20 数種が確認され、体内で細胞の増殖や分化に極めて重要な働きを持つことが知られています。一部の成長因子は「**ヒトオリゴペプチド**」の表示名称で化粧品原料としても登録され、注目を集めています。

しかしながら、医薬品となっている成長因子もあり、化粧品としての十分に安全性であるとは言えません。そこで、この成長因子の機能を生かしつつ、安全に使用してもらうことをコンセプトに開発されたのが「**スキンファクター**」(Skin Facteur)」です。

スキンファクターは 10 前後のシンプルなアミノ酸構造であるため、代謝されやすく**安全性**だけでなく、成長因子より配合量を添加できるため**持続性**に優れるという特徴があります。



スキンファクターはサイトカインを元に開発された



(Life Sciences, Vol.31,pp.679-683,1982)

EDP3 と Rejuline はそれぞれ表皮、真皮に主に作用。
IDP5 は細胞を活性化させます。

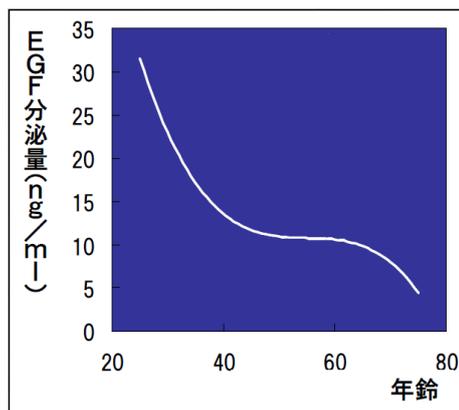
【効果・効能】

スキンファクターは明確な機能を持っており、単体でも特徴的な効果を発揮します。しかしながら、体内で成長因子が相互補助的に作用するのと同様に、スキンファクターの組み合わせによって、その効果はさらに高まります。

① **EDP3** (EGF 様ペプチド) は主に表皮に作用し、加齢により減少する **EGF の分泌を促し**、肌の若返りを進めます。また、細胞増殖を促進し、内側から健全なターンオーバーを導きます。

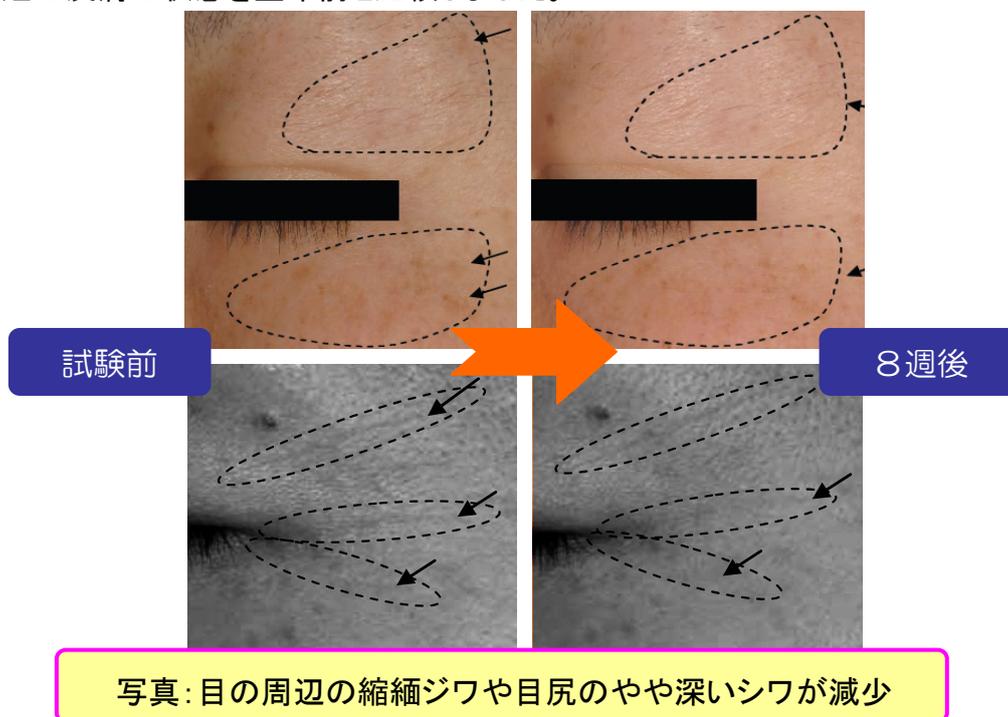
② **Rejuline** (FGF 様ペプチド) は真皮に作用し、主要な細胞外マトリクス (コラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸) の合成を促進します。

③ **IDP5** (IGF 様ペプチド) は医薬品である hGH (ヒト成長ホルモン) の直下にある IGF に近い働きを持ちます。年齢を重ねることにより hGH および IGF は減少しますが、IDP5 は **IGF を活性化** するため、細胞死を防ぎ、衰えた細胞の保護機能を取り戻します。



◎ スキンファクターによるクリニカルトライアルにおけるシワの改善効果

健常な 37 - 53 歳 (平均 45 歳) の韓国女性 30 名を対象に、**EDP3**、**Rejuline**、**IDP5** をそれぞれ僅か 1ppm (0.3%) 添加したクリームを 1 日 1 回塗布しました。8 週間後、目元周辺の皮膚の状態を塗布前と比較しました。



【商品情報】

商品名: ①EDP3、②Rejuline (リジュリン)、③IDP5

表示名称: ①オリゴペプチド-24/②アセチルデカペプチド-3/③オリゴペプチド-20、水、BG

製造元: Caregen 社 (韓国)